

藤友



人と環境の未来をみつめて
高藤建設株式会社

2016 新春号

No. 397



代表取締役 高藤 元太郎

新年のご挨拶



謹んで新春のお慶びを申し上げます

本年もどうぞ

よろしくお願い致します

第 7 1 期 経 営 方 針

希 望 あ る 未 来 に



私たちが、これからの未来に希望を持てるような経営を実践していくことが大切です。そのために今出来ることは、全社が一丸となってこの大きな変化に挑戦していくことです。まず次の3つのキーワードを念頭において、日々の業務に取り組みましょう。私たちの将来あるべき姿を想像し、そこへ向けて全員でチャレンジしていきましょう。

1、夢・・・・・・・・未来を信じ 未来に生きる

人は生きていくために夢を描き希望を持つことが必要です。そして自分の仕事(建設業)に誇りをもって、社会の役に立っていることを自覚することにより、働くこと、努力することを楽しみと喜びを見い出すことです。これまでの価値観や常識が大きく変わり、世界を流動化する現実はどう対処して行けばいいのか？大きな問題に遭遇しています。どんな人生を送りたいのか？どんな願いを持っているのか？何をなすために生を受けたのか？それぞれが夢と希望を持って一步一步前進することが使命です。

“未来を信じ未来に生きる”

2、挑・・・・・・・・勇気を持って 変化にチャレンジ

常に変化し続ける世の中、現状にとどまることは出来ません。とどまることは滅亡を意味します。変化に耐え、試練に挑戦することは我々が存在するために必要です。試練に向かい合ってそれを乗り越える、試練から逃れるのではなく、試練を引き受け成長していきます。ひとつの壁を破ることにより、また順調な飛行を続けることが出来ます。人間には無限の潜在能力が眠っています。自信を持って自分も気付かなかった潜在能力を引き出すことが本質です。

3、和・・・・・・・・全社一丸のチームワーク

昨今は個の時代と言われ、個人主義が主流になっていますが、企業は、あくまでも人と人の集まりです。その集団が同じ方向を向いて、進んでいかなければ企業の目的は達成できませんし、その社員の存在意義もありません。個々それぞれが協調して、連携し、お互いを理解し合える関係を保つことが必要です。そのためにあらゆる場面でコミュニケーションが重要なツールとなります。コミュニケーションを取ることで、反対派の常句「聞いてない」がなくなります。風通しの良い社内には、自ずとチームワークが生まれます。

その全社一丸のチームワークで、お客様へ信頼と満足を提供しましょう。



目標達成・安全祈願

12月1日、当社は第71期の期首に当たり、戸上神社にて目標達成と工事の安全を祈願しました。祈願終了後、神社会館にて全員朝礼を行い、会長より今期の経営方針の主旨説明を受け、各部門長が新年度に向けて、それぞれの部門品質目標を発表し、社員一同目標達成とゼロ災実現に向けて心をひとつにしました。



第71期 ゼロ災実現計画

1. 基本理念 人命尊重(安全はすべてに優先する)

2. 基本方針 一歩踏み込んだ、先手、先手の安全管理

スローガン 身を守る 先手先手の 安全対策

3. 目標
「安全」労働災害 0
「衛生」業務上疾病 0

4. 重点実施事項

墜落・転落・重機・災害の撲滅
a. コミュニケーションの徹底と現場づくりの推進
b. 一歩かかるとミスを招く作業の撲滅
c. 責任者による対話指導の強化
d. 心と身体の健康管理

高藤建設株式会社
高藤建設安全衛生協力会

互いに安全衛生意識を向上

新年あけましておめでとうございます。

旧年中は格別のお引立てを賜り厚く御礼申し上げます。建設業界を取巻く環境は好転の兆しを見せてはいるものの、長きに亘る不況による人材不足（高齢化、現場経験の浅い労働者の増加）が顕在化しています。このことを背景に長期的には減少傾向を辿ってきた労働災害も、この5年間では一進一退を続けており、昨年は死傷災害や重大災害も前年を上回りました。その災害原因は「転倒」がトップで「墜落・転落」を合わせると全体の4割を占めると言われています。

そういった状況の中で職場の安全を確保するためには、経営者と労働者双方が改めて安全衛生意識を向上させ、危険に対する感受性を高めることが重要となることは言うまでもありません。

新しい年を迎え、協力会一同、強い決意のもと率先して安全衛生活動について総点検を行い、無事故・無災害を達成できます様安全衛生管理体制の徹底を図っていく所存でございます。新年を迎え高藤建設様の益々のご発展と協力会の皆様のご健勝を祈念致しまして年頭のご挨拶とさせていただきます。



高藤建設安全衛生協力会
会長 瀬口 昇司



日南病院第3期

- ▽ 発注者 社会福祉法人 愛泉会 様
- ▽ 設計監理 株式会社 テイク・ナイン計画設計研究所様
- ▽ 工期 平成26年11月19日～平成27年10月31日
- ▽ 規模 RC造2階建 延床面積3,435.17㎡
- ▽ 工事場所 宮崎県日南市



《完成して一言》

重度心身障害者の病棟として愛泉会日南病院3号棟が完成しました。入院患者の方が安全にかつ快適に利用でき多床室でも患者一人一人のプライバシーが確保された病棟となりました。西島理事長を始め病院の方々，設計監理のテイク・ナイン様のご協力をいただき無事竣工できましたことを御礼申し上げます。



【建設部 江木】

ホームひかり改修

- ▽ 発注者 社会福祉法人 光の子会 様
- ▽ 設計監理 株式会社 ソリュートデザイン 様
- ▽ 工期 平成27年7月1日～10月31日
- ▽ 規模 RC造2階建改修工事
- ▽ 工事場所 北九州市



《完成して一言》

ひかり工芸舎様の隣接する既設建物を改修し居住施設とする工事でした。工事車両駐車場や、工事中の騒音などで大変ご迷惑をお掛けしながら順調に工事進める事が出来ました。理事長、施設長並びに、設計事務所様が施設利用者に配慮されたプランを施工させていただきました。今後も、施設利用者が快適に末永く使用出来ますように、アフターサービスにも努めて行きたいと思えます。



【建設部 松尾】

ホームプラザ ナフコ 宗像店

- ▽ 発注者 株式会社 ナフコ 様
- ▽ 設計監理 高藤建設株式会社福岡支店一級建築士事務所
- ▽ 工期 平成27年8月1日～11月20日
- ▽ 規模 S造平屋建 延床面積 4,858.26㎡
- ▽ 工事場所 宗像市



《完成して一言》

旧ナフコ宗像店様の老朽化に伴い、建替え、新築工事です。
他店とは一味違い、内部ではホワイトとピンクで床を貼分け、外部にはLED内照式の店名サイン、広告塔看板を設置するなど随所にこだわりをもった明るくやわらかな建物になりました。



【福岡支店 濱島】

たけでん 本社

- ▽ 発注者 株式会社 たけでん 様
- ▽ 設計監理 中田建築設計事務所 様
- ▽ 工期 平成27年3月19日～11月30日
- ▽ 規模 S造5階建 延床面積 565.38㎡
- ▽ 工事場所 大阪市



《完成して一言》

昭和49年に施工させていただいた本社屋の老朽化に伴い、今回新社屋の建設も当社で施工させていただきました。
屋上には太陽光パネルを設置し、照明器具を全てLEDに、サッシにはペアガラスを使用し、環境や省エネに配慮した仕様となっております。外観もカーテンウォールと御影石を使用した一際目を引く建物となりました。
工事期間中は施主様をはじめ設計事務所様のご指導のもと無事竣工することができました。



【大阪支店 杉】

品質管理をペーパーレスで挑戦します【Paperless Quality Control】

CHALLENGE!!70

当社では2002年から今日迄ISO9001【国際標準化機構】による品質管理を取り組んで参りました。十数年の取り組みの中で「実務と別にISOのための業務が増える!・・・」という事が言われ続けていました。「当初の取り組みが悪かった」のかも知れませんがそう言われ続けながら改善できない状況でした。

今回ISOの大幅な改正もあり、これを機会と捉えISO手法を継承しつつも2002年まで社内で積極的に行われていたQC手法を復活し、IPHONE/IPADを最大限活用したペーパーレスで品質管理を推進するシステムを実施する事に致しました。

無駄な業務を省くことで、社員がそれぞれの課題に専念し進んで業務を見直し改善するツールとなり、BIM【ビルディングインフォメーションモデリング】と共に完成建物品質をより高める活動として鋭意取組んで参ります。



70周年記念 「40年前のあの頃を思い起こして」

私が中野組(現在の株式会社ナカノフドー建設)から当社に帰ってきて、ちょうど40年が経ちました。当時は30歳で子供は3人、東京での生活が15年でしたから、今思い返すと小生意気な私でした。

中野組では現場に出ていましたが、一人きりの現場から大手とのJVや、中高層のプレファブなど貴重な経験をさせていただきました。

仮枠の割り付け図や鉄筋の積算、造作の加工図面、ガス溶接まで何でも経験しました。

中野組で働けたのは、親父が夜間に早稲田の工手学校に通っていた時、昼は中野組で働いていたという縁のおかげです。

当社では一変してデスクワークになり、オフコンの導入をしましたが、先代会長のコンピューターの理解にはやはり優れた先見性があったと感じています。

現会長もそれを受け継ぎ一人一台のパソコン導入と全社オンライン化を実施し、時代を先取りしました。

社員を大事にする事、事務の合理化と現場を大切にする事は我が社をこれまで支えてきた三本の支柱です。

そして、これからも。



高 藤 國 雄

昭和19年生 当たり年



常務取締役

高藤 國雄

今、少し若い方のお手伝いをしたいと思います。

昭和43年生 当たり年



大阪支店

古賀 忠司

入社して3回目の年男となりました。
「40歳にして惑わず」とはなりませんでしたが、50にして天命を知れる様に頑張っていきたいと思います。



福岡支店

今井 雅人

多くの人に支えられ4度目の年男を迎えることが出来ました。
これからも健康に気を付けて新たな目標目指して努力したいと思います。



事務センター

座木 恵子

歳を重ねる毎に、元気だったころの母に顔はもちろん、話し方、しぐさまでもそっくりになったと周りの人からよく言われるようになりました。
今まで支えて下さった方や家族、健康であることに感謝して、優しく・芯のある女性でありたいと思います。

平成4年生 当たり年



建設部

仲 信二

入社して半年が過ぎ仕事にも慣れてきました。年男という事で今年はさらなる成長が出来る様に頑張っていきたいです。まだまだ分からない事ばかりで迷惑をかけると思いますがこれからもご指導宜しくお願いします。



福岡支店

鍛冶 翔吾

入社してもうすぐ1年が経ち初めての年男となります。
早く会社に貢献出来る様に頑張る、健康に過ごしていきたいと思います。



福岡支店

飯田 歩

入社してもうすぐで4年目を迎えます。
仕事にも慣れてきた今だからこそもう一度自分自身を見つめなおし会社に貢献できるようにこれからも精進していきたいと思います。

編 集 後 記

あけましておめでとうございます。新年にあたり皆様のご多幸を祈念いたします。
表紙の写真は弊社の本社玄関前です。この玄関底の70をモチーフにした記念看板は、弊社にご縁のあった皆様にこれまでの感謝の意を表現させて頂く意味で設置させて頂きました。弊社は本年2月で創立70周年を迎えます。また藤友誌も今年の秋号で400号という節目の発刊を迎えます。これも一重にお客様をはじめ多くの皆様に支えて頂いたお蔭でありますことを感謝申し上げます。これからも弊社共々100周年、500号と永年に亘って継続するように編集委員一同精進してまいります。今後ともご指導ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

発 行

高藤建設株式会社 高 藤 元 太 郎

北九州市門司区東新町1-1-30

TEL093-381-0461 FAX093-381-0543

<http://takafuji.co.jp>



高 藤 建 設 株 式 会 社